

2021.8.25

2021年7月のスタートアップ雇用指数「WANTEX」は過去最高値に
 2021年3月以来5ヶ月連続の上昇(前月比+0.67ポイント)
 業種別 WANTEX でも全業種において昨月から増加
 道府県別 WANTEX では初の3ポイント台を宮崎県が記録



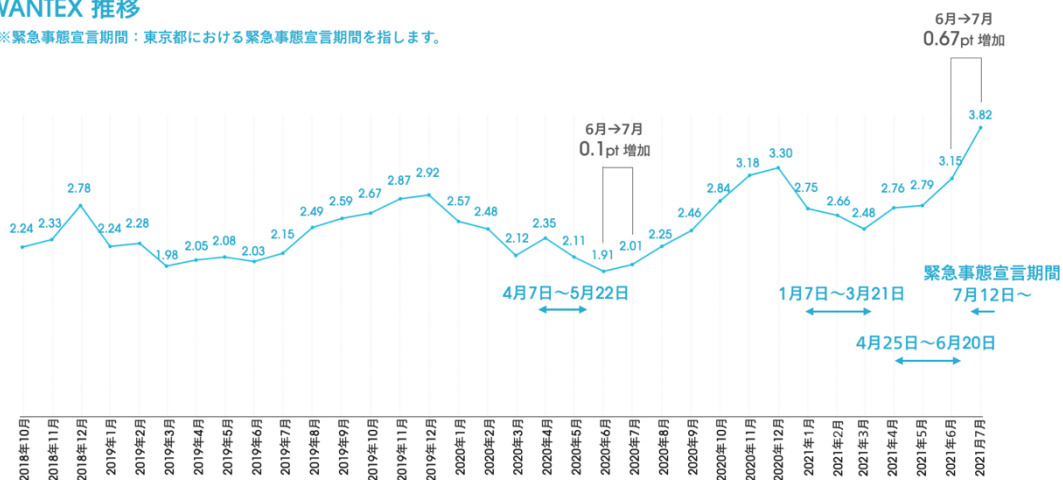
ビジネス SNS「Wantedly」を運営するウォンテッドリー株式会社は、2021年7月版のスタートアップ雇用指数「WANTEX」（Wantedly Job Market Index、読み：ウォンテックス）を公開しました。

7月の WANTEX は 3.82 ポイントと過去最高値

WANTEX は東京都が1回目の緊急事態宣言を発出した2020年4月~5月から増加し続け、2020年12月には過去最高値を更新しました。しかし緊急事態宣言が再度発出された2021年1月からは下落が続き、2021年4月には4ヶ月ぶりに回復に転じました。6月度から7月度にかけての変動について昨年と今年を比較すると、2020年7月は0.1ポイント増であるのに対して、今年2021年7月は0.67ポイント増となりました。

WANTEX 推移

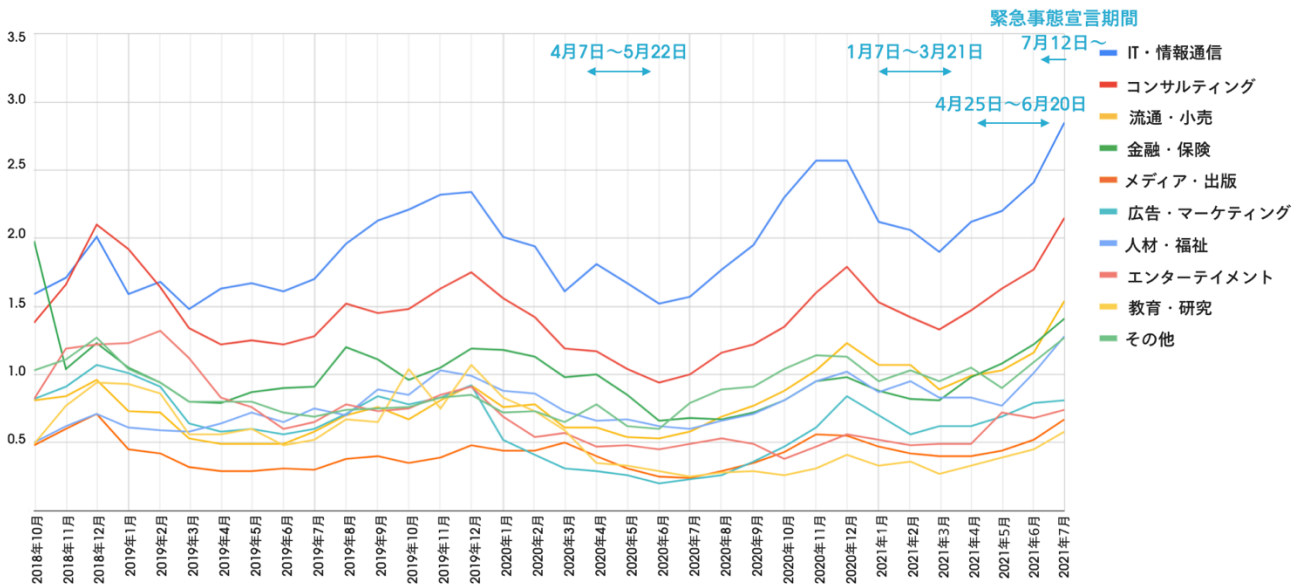
※緊急事態宣言期間：東京都における緊急事態宣言期間を指します。



業種別でも 4 業種で過去最高値を記録

業種別の WANTEX 推移を見ると、昨月から下落した業種はなく、すべての業種で増加し、特に IT・情報通信、コンサルティング、流通・小売、人材・福祉業界では過去最高値を記録しました。

業種別 WANTEX 推移



2021年7月時点の WANTEX の業種別ランキングは以下の通りで流通・小売業界が対昨月比 133%と大幅な伸びを見せました。WANTEX が 1 倍を割り込んでいる業種においては募集数に対して応募人数が超過しているため、該当業種のスタートアップ企業は採用しやすい状況にあると思われます。

表1：業種別 WANTEX ランキング (21/7月)

No.	業種	WANTEX	対昨月比
1	IT・情報通信 -	2.85	118%
2	コンサルティング -	2.15	121%
3	流通・小売 ↑	1.54	133%
4	金融・保険 ↓	1.41	116%
5	人材・福祉 -	1.28	127%
6	広告・マーケティング -	0.81	103%
7	エンターテイメント -	0.74	109%
8	メディア・出版 -	0.67	129%
9	教育・研究 -	0.58	129%

2ヶ月連続でデジタル人材 WANTEDX の最高値をコンサルティング業界が更新

表1よりIT・情報通信業を除き、募集の対象職種をデジタル人材に絞った業界別 WANTEDX を算出したところ、デジタル人材の WANTEDX は流通・小売とエンターテイメント業界を除き対前月比で増加を記録。昨月から引き続きデジタル人材 WANTEDX の最高値を、コンサルティング業界が 2.43 ポイントで更新。また金融・保険業界も 2 ポイントという大台を記録しています。

表2：業種別デジタル人材WANTEDXランキング（21/7月）

No.	業種	WANTEDX	対前月比
1	コンサルティング -	2.43	122%
2	金融・保険 -	2.08	127%
3	人材・福祉 ↑	1.44	157%
4	流通・小売 ↓	1.23	99%
5	メディア・出版 ↑	0.90	129%
6	教育・研究 ↑	0.79	139%
7	エンターテイメント ↓	0.74	89%
8	広告・マーケティング ↓	0.71	118%

※デジタル人材定義：「エンジニアリング」「PM・Web ディレクション」「デザイン・アート」の3職種で Wantedly に登録している人を指します。

宮城県が大幅伸長。今月も首位の宮崎県が最高値を更新

東京都を除いた 46 道府県における WANTEDX に着目すると、最も大きく伸長したのは宮城県の対前月比 153%でした。また首位の宮崎県は道府県 WANTEDX 初の 3 ポイント台を記録しました。

表3：道府県別WANTEDXランキング（21/7月）

No.	道府県	WANTEDX	対前月比
1	宮崎県 -	3.60	128%
2	京都府 -	1.79	89%
2	大阪府 ↑	1.79	123%
4	神奈川県 -	1.33	119%
5	北海道 -	1.17	107%
6	福岡県 ↑	1.06	131%
7	愛知県 -	0.98	118%
8	埼玉県 ↓	0.93	95%
9	宮城県 -	0.58	153%

※非首都圏地域の WANTEDX：該当する道府県を所在地として登録しているスタートアップ企業の掲載募集数を、それに対する応募者数で割り込んだ数を指します。

職種別では対昨月比で全職種増加

2021年7月時点の職種別 WANTEDX に着目すると、全職種で対昨月比 110%以上増加し、10 職種中 6 職種で 2 ポイント以上を記録しました。

表4：職種別WANTEDXランキング（21/7月）

No.	職種	WANTEDX	対昨月比
1	エンジニアリング -	5.76	114%
2	セールス・事業開発 -	3.37	124%
3	メディカル系 ↑	2.48	128%
4	コーポレート系 ↓	2.37	119%
5	PM・Webディレクション ↑	2.26	117%
6	コンサルティング ↓	2.19	112%
7	カスタマーサクセス -	1.98	133%
8	デザイン・アート ↓	1.76	118%
9	マーケティング・PR -	1.48	128%
10	編集・ライティング -	0.88	119%

スタートアップ雇用指数「WANTEDX」について

■ スタートアップ雇用指数「WANTEDX」の定義

【算出式】「WANTEDX」 = (スタートアップ企業が掲載している公開状態にある) 募集数 ÷ (スタートアップ企業への) 応募者数

※スタートアップ雇用指数は上記式の各項を月次で合算して算出しています。

※ 募集数、応募者数ともに、Wantedly で公開された募集、応募した登録者を算出対象としています。

※ スタートアップ企業は算出月から創業 10 年以内の企業を指します。

■ WANTEDX 公開の背景

Wantedly はスタートアップ企業とともに成長し、2020年の情報・通信業に分類されるマザーズ上場企業のうち、約 7 割にご利用いただくに至りました。世界的には米国、中国を中心にスタートアップ経済が活況を示す中、未来の日本の産業を創る新興企業のトレンドを可視化することで、私達は/当社は日本のスタートアップ経済をより一層盛り上げていきたいと考えています。そのため、2020年11月よりスタートアップ経済

の成長性を示唆する新たな先行指標として、スタートアップ雇用指数「WANTEX」の公開を開始いたしました。

ウォンテッドリーは、企業の潜在転職者への認知形成、共感を軸とした人と企業の出会いの創出を提供しながら、入社後の従業員の定着、活躍を支援するエンゲージメント事業を推進しております。スタートアップ雇用指数「WANTEX」の公開を通じて、未来の日本の産業を創るスタートアップシーンの盛り上がりを加速させることで、Wantedlyが「はたらくすべての人のインフラ」となる世界の実現を加速させてまいります。

ウォンテッドリーについて

ウォンテッドリーは、『シゴトでココロオドルひとをふやす』ために、はたらくすべての人が共感を通じて「であい」「つながり」「つながりを深める」ためのビジネス SNS「Wantedly」を提供しています。2012年2月のサービス公式リリースから現在まで、登録会社数42,000社、個人ユーザー数300万人を突破し、国境を越えて『はたらくすべての人のインフラ』を創っていきます。

<会社概要>

会社名 : ウォンテッドリー株式会社
URL : <https://www.wantedly.com>
本社所在地 : 東京都港区白金台5-12-7 MG 白金台ビル4F
代表取締役 : 仲 暁子
設立 : 2010年9月
事業概要 :

300万人以上が利用するビジネス SNS「Wantedly」

- 気軽に会社訪問ができる Wantedly Visit
- 出会いを記録し活躍を共有する Wantedly People

ビジネス向け

- 採用マーケティング
- エンゲージメント Suite